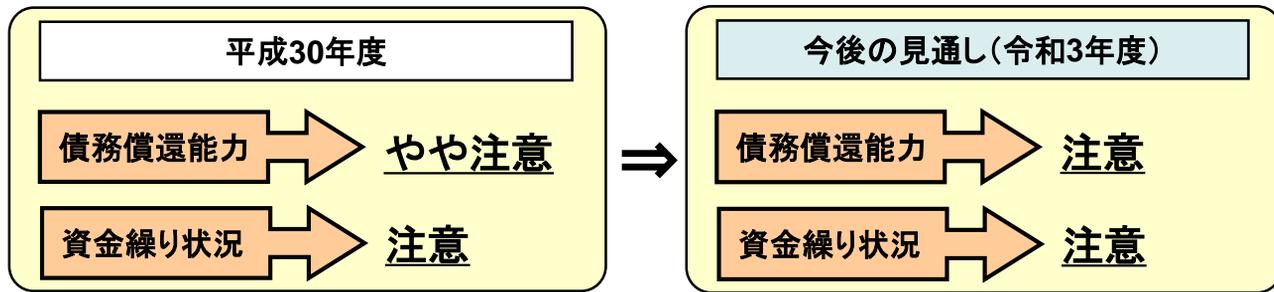


東郷町の財務状況把握結果(要旨)

総合評価

(R2. 1. 24 財務省 東海財務局)



財務指標

指標	① 実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	② 債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕	③ 行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕	④ 積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕
問題なし	7.7月 ↓ 7.9月	7.9年		
やや注意	18.0月	15.0年	10.0% ↓ 8.0% ↓ 0.8%	3.0月 ↓ 2.6月 ↓ 2.0月
注意	24.0月	74.6年	0.0%	1.0月

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(③、④)

留意点

貴町は、名古屋市と豊田市の中間に位置し、近隣市町への通勤通学に適した立地であることから、若い子育て世代を中心とした人口流入が続いている。さらに、「子育てするなら東郷町」という方針のもと、県内でも先駆けて18歳までの医療費無料化を実施するなど、住民の子育て支援に注力している。また現在では、定住人口の増加、にぎわいと働く場の創出、財政基盤の強化を目指すために、東郷中央土地区画整理事業を核とする「セントラル開発」を推進している。この開発によって、貴町は更なる町の発展と将来人口並びに税収の増加を見込んでいる。

一方で、子ども医療費助成制度による扶助費の増加や、後期高齢者医療事業・介護保険事業にかかる繰出金の増加などから行政経常支出は増加傾向にあり、人口流入に伴う個人住民税や固定資産税などの増加によって行政経常収入の増加はあるものの、貴町の行政経常収支率は過去から診断基準(10.0%)を下回って推移している。

また、貴町は「東郷町基金積立方針(最終改定:平成29年3月)」を策定しており、基金の積立目標、運用方針を定め目標値達成に努めているものの、現在はセントラル開発をはじめ各種投資事業への支出が大きく、積立原資を確保できず、積立低水準が解消されない状態が続いている。

セントラル開発事業終了後も、公共施設の長寿化対策事業によって普通建設事業費の大幅な減少は見込まれず、更に令和3年度から令和7年度までの公債費が過去最高の水準となる見通しであることから、積立原資を確保可能とするだけの収支の確保が課題となってくる。

以上のことから、貴町はセントラル開発等の事業を推進し新たな自主財源を確保する一方で、各個別事業の見直しによる歳出削減の徹底や、受益者負担の適正化並びに行政サービスの効率化による、行政経常収支の改善を進め、持続可能な財政運営の確立に努められたい。

財務指標の経年推移

※平均値は、いずれもH29年度

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 愛知県 平均値
①実質債務月収倍率	8.6月	8.6月	8.4月	8.0月	7.7月	8.5月	8.3月	5.6月
②債務償還可能年数	9.2年	8.7年	10.6年	9.9年	7.9年	10.4年	7.7年	5.5年
③行政経常収支率	7.8%	8.2%	6.5%	6.7%	8.0%	7.9%	11.5%	11.8%
④積立金等月収倍率	2.5月	2.6月	2.5月	2.4月	2.6月	5.4月	7.6月	4.9月